

KOSHO

第10号
昭和63年10月発行

- 日米自動車関係の三つのうね
- 外国製日本車・日本製外国車
- 知って得する酒雑学
- パリ・ダカールラリー用2輪車の開発
- ニューガラスとその製造法



自動車技術会関東支部報〈高翔〉

アメリカ雑感 ● 岡部萌生

自動車雑感 ● 永井伸樹

雪道のすべりと交通安全 ● 堀内 数

未来に向かって ― 私の一家言 回顧と提言 ● 服部六郎

颯爽と4WD ● 富士真奈美

続・日本のことば ● 平井啓輔

肌で感じとった日米自動車関係の三つのうねり ● 吉田信美

知って得する酒雑学 ● 市村信夫

コラム／ビールはデリケート、さらにおいしくお飲みください。

歯なしの話 ● 木本弥太郎

外国製日本車・日本製外国車 ● 浅岡重輝

パリ・ダカールラリー用2輪車の開発 ● 服部 茂

ニューガラスとその製造法 ● 入江正教

元支部長故志熊平治郎君を偲んで ● 大里徳至郎

磁性体を用いた自動車センサの現状 ● 堀内憲太郎

アメリカの自動車博物館紹介 ● 樋口健治

支部通信

あとがき

〈表紙解説〉

この車はアメリカのデューゼンバーグS Jの1933年型であり、直列8気筒DOHC 6882 ccで速心式スーパーチャージャーを付けた320HPエンジンで、2565kgのマンモス・ロードスターを時速200kmで走らせる。フランスのプガッチ41ロワイヤル(本誌8号表紙)、ドイツのメルセデスSSK、イタリアのイソタ・フラスキーニ8Aなどと共に、旧き良き時代のビンテージ・カーを代表するものの一台といえよう。なお実物はアメリカのハラズ・コレクションにあり、初期のA(1921)、J(1928)、S(1932)などと一緒に列べられている。(樋口健治)

3

4

5

6

8

9

12

16

19

20

22

27

32

36

37

42

47

48